

レイテックス®

屋根通気スパーサー 材質：紙

タッカーで止めるだけの簡単施工です。

- 垂木と垂木の間にスパーサーを入れることにより、軒から棟にかけて空気の通り道をつくれます。
- 滞留熱を軽減させることにより、屋根断熱材の性能をフルに発揮し、屋根上からの輻射熱を抑えます。



屋根通気スパーサー

商品名	品番	幅 (mm)	長さ (mm)	フラップ (mm)	素材
屋根通気スパーサー	RT-1	465	920	30 (両端折り返し)	紙

壁・天井充填用断熱材

現場発泡硬質ウレタンフォーム (A種3)

ご注文の流れ

- 1 積算ご依頼
平面、立面、矩計図など必要書類をご提出
- 2 お見積もり提出
- 3 ご注文
- 4 現地調査
- 5 現場施工

※ 詳細は担当へご確認ください。



防耐火認定取得済み

木造軸組み、枠組において、各種準耐火構造 (45分)、防火構造 (30分) の認定取得済み。
※ 認定の詳細は担当までご確認ください。



現場発泡ウレタンフォーム 物性表

項目	試験方法	単位	測定値	JIS規格 (A種3)
熱伝導率	JIS A 9526	W/(M·K)	0.034	0.040以下
透湿率		ng/(m/s/Pa)	14.5	—
燃焼性	燃焼時間 (建築物断熱用)	秒	38	120秒以内
	燃焼長さ (発泡硬質ウレタンフォーム)	mm	32	60mm以下

※ 硬質ウレタンフォーム A種3は防湿層の設置が原則ですが、2009年省エネ法改正により防湿層の設置が条件付きで不要となります。

基礎断熱対応 高性能断熱材

現場発泡硬質ウレタンフォーム (A種1H)

木造住宅の基礎断熱用、RC造の壁断熱用等に適した高断熱硬質ウレタンフォームです。

A種1Hは発泡剤としてHFO (ハイドロフルオロオレフィン) を使用し、環境に優しく、高い断熱性能を実現します。

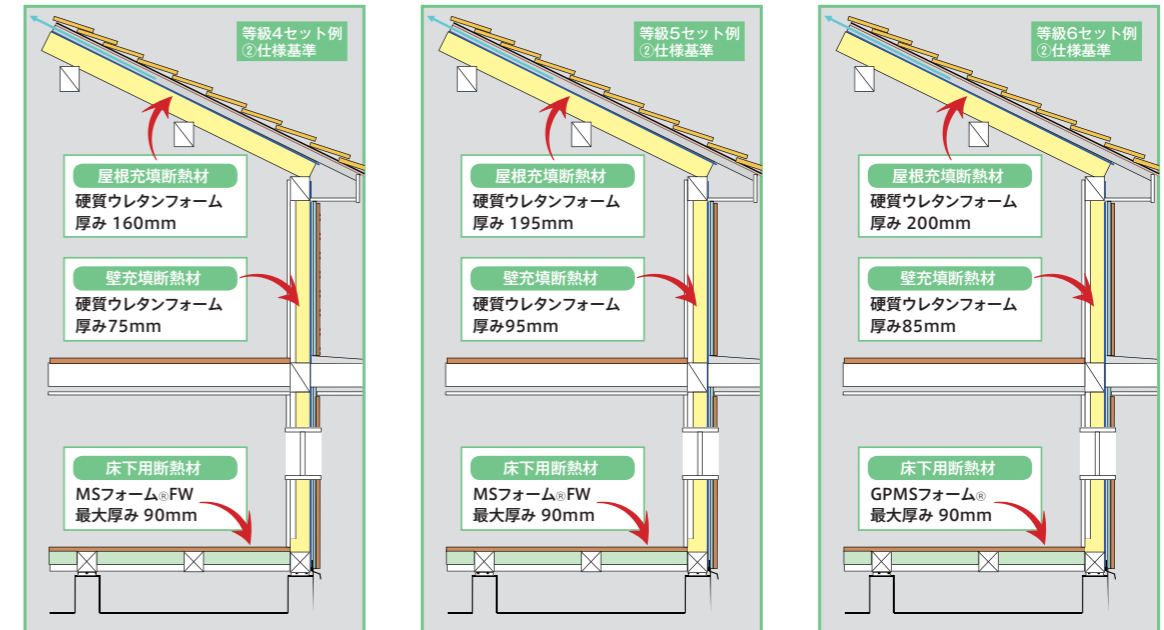


A種1H (HFO) 熱伝導率
0.026以下

コラム

COLUMN

2025年の省エネ基準適合義務化に向け、各断熱等級を実現する家全体の屋根、壁、床断熱をセットでご提案いたします。



■5～7地域での各断熱等級推奨仕様例

断熱等級	パターン	UA値	屋根・天井	壁	床	土間床立上基礎	開口部	備考
等級4	①	仕様基準	天井 高性能グラスウール16K 155mm λ0.038 : R4.0以上	高性能グラスウール16K 85mm λ0.038 : R2.2以上	MSフォーム®FW λ0.037 : R2.2以上	MSフォーム®UB65mm λ0.037 : R1.7以上	U値 窓ドア2.33	等級4仕様基準
	②	仕様基準	屋根 ウレタンA種3 160mm λ0.034 : R4.6以上	ウレタンA種3 75mm λ0.034 : R2.2以上	MSフォーム®FW λ0.037 : R2.2以上	MSフォーム®UB65mm λ0.037 : R1.7以上	U値 窓ドア2.33	等級4仕様基準
等級5	①	仕様基準	天井 高性能グラスウール16K 178mm λ0.038 : R4.4以上	高性能グラスウール16K 105mm λ0.038 : R2.7以上	MSフォーム®FW λ0.037 : R2.2以上	MSフォーム®UB65mm λ0.037 : R1.7以上	U値 窓ドア2.33	等級5仕様基準
	②	仕様基準	屋根 ウレタンA種3 195mm λ0.034 : R5.7以上	ウレタンA種3 95mm λ0.034 : R2.7以上	MSフォーム®FW λ0.037 : R2.2以上	MSフォーム®UB65mm λ0.037 : R1.7以上	U値 窓ドア2.33	等級5仕様基準
	③	0.6	天井 高性能グラスウール16K 180mm λ0.038 : R4.7	高性能グラスウール16K 90mm λ0.038 : R2.4	MSフォーム®FW λ0.037 : R2.2	MSフォーム®UB65mm λ0.037 : R1.7	U値 窓ドア2.33	外皮平均熱貫流率計算による
	④	0.6	屋根 ウレタンA種3 160mm λ0.034 : R4.7 ※垂木H60mmとする	ウレタンA種3 85mm λ0.034 : R2.5	MSフォーム®FW λ0.037 : R2.2	MSフォーム®UB65mm λ0.037 : R1.7	U値 窓ドア2.33	外皮平均熱貫流率計算による
等級6	①	0.46	天井 高性能グラスウール32K 200mm λ0.035 : R5.7	高性能グラスウール32K 105mm λ0.035 : R3.0	GPMSフォーム®90mm λ0.031 : R2.9	GPMSフォーム®65mm λ0.031 : R2.1	U値 窓ドア1.6	外皮平均熱貫流率計算による
	②	0.46	屋根 ウレタンA種3 200mm λ0.034 : R5.8 ※垂木H60mmとする	ウレタンA種1H 85mm λ0.026 : R3.26	GPMSフォーム®90mm λ0.031 : R2.9	GPMSフォーム®65mm λ0.031 : R2.1	U値 窓ドア1.6	外皮平均熱貫流率計算による
等級7	①	0.26	天井 高性能グラスウール32K 200mm λ0.035 : R5.7	ウレタンA種1H 85mm λ0.026 : R3.26 +付加断熱ボード : R5.0	断熱ボード : R5.0	断熱ボード : R3.0	U値 窓1.0 ドア1.3	外皮平均熱貫流率計算による
	②	0.26	屋根 ウレタンA種1H 200mm λ0.026 : R7.69 ※垂木H60mmとする	ウレタンA種1H 85mm λ0.026 : R3.26 +付加断熱ボード : R5.0	断熱ボード : R5.0	断熱ボード : R3.0	U値 窓1.0 ドア1.3	外皮平均熱貫流率計算による

※ 外皮平均熱貫流率計算は、一般社団法人日本サステナブル建築協会:住宅の改正省エネルギー基準の建築主の判断基準と設計・施工の解説テキスト1の物件 (120.08m²階建て) をモデルとしています。
※ 外皮平均熱貫流率計算値は、間取りプランにより変動しますので、その都度対応する断熱材の厚みや開口部性能の変更調整が必要となります。